



三澤 正先生

ピロリ菌を除去しよう

博愛会病院 院長 三澤 正先生をお迎えしピロリ菌についての講演会が東芝福岡支社にて開催されました。

ピロリ菌という名前は最近よく耳にするようになりましたが実際どのような菌なのかわかりやすくお話しをしていただきました。

～胃がん予防の第一歩～

そもそもピロリ菌とは？

胃がん発生の主因と考えられている菌で胃壁に住みつき、胃酸の出が悪く免疫力の低い幼少期に感染すると言われています。

主として口を通して感染し母子間の口移しや井戸水を飲用した事による感染などが原因として挙げられます。また、衛生環境があまり良く無い場合にも感染が認められており、これらの要因から幼少期に比較的衛生環境が良かった現代の中学生では5%程度の感染率といわれている一方で、幼少期の衛生環境が現代ほど良好で無かった50代以上の世代では50%以上などさらに高齢になるにつれてその感染率が高くなっています。

ピロリ菌に感染するとどうして胃がんになるの？

胃の中にピロリ菌がいると胃を守る粘膜がピロリ菌が出す酵素によって傷んで薄くなり、その結果胃酸が直接胃壁に触れて胃炎を発症します。この状態が長く続くと慢性胃炎を起こし、年齢とともにひどくなりその結果、胃がんを発症すると言われています。近年、胃がんにかかった人の99%にピロリ菌がいたという研究結果が発表されています。

ピロリ菌がいるか、いないかの検査方法は？費用はどれくらいかかるの？

検査方法は色々ありますが手軽な方法としては95%の正確さが立証されている尿素呼気試験です。袋の中に息を吹き込み、さらにその20分後に印のついた尿素の薬を飲んで再度、息を吹き込むといった簡単なものです。詳しくは検査の際、説明をしていただけます。

検査費用はどれくらいかかるのか不安に感じられる方も多いと思いますが 40 歳以上であれば安価で 70 歳以上なら無料で福岡市の胃がん検診で受診することができます。また、保険でクリニックなどで検査したい場合はまず、胃内視鏡検査を受診し胃にピロリ菌によって起こった胃炎が確認される事が第一歩になります。

ピロリ菌が体内にいた場合の除菌は 7 日間 1 日 2 回薬を服用することで除菌されます。この間、禁酒、禁煙が必要ですが。。。。詳しくは医師の説明を聞いていただけたらと思います。

おわりに

今回のお話を伺い、胃がんを予防するにはピロリ菌が体内にあるか無いかを検査し、それを除去する事が予防の第一歩であるということを実感しました。検査も除菌も痛みや苦痛を伴うことなく行えるということを知り勉強になりました。日本ではがんにかかる方の数はいまだに胃がんが第 1 位とされています。胃がんになるのではないかと怯える前に

まずは胃がん発症の主因となるピロリ菌除去から始めてみませんか？



2016 年 5 月 12 日

文 久富 淳子

講演会の様子